



TOPICS

阪和いずみ病院はリハビリテーションの
対応領域の幅が広く注力しています！

精神科作業療法

精神科作業療法は「精神科一般チーム」と
いろいろな活動で「元気」「回復」「安定」に働きかけます
「認知症チーム」に分かれて活動しています。

精神科一般チーム



様々な作業活動を通じ、作業遂行能力を改善し、自立と適応を促進していくことで、自身の特性や強みに気づき、必要な支援を考え、お一人お一人が次の目標を達成できるよう支援していきます。OT室での各種の個別活動やカラオケ、病棟内での活動(軽運動等)を行います。アルコール依存症プログラムの一旦担い、プログラム参加中の方とも関わっています。

認知症チーム



週に数回、決まった曜日、時間帯に病棟を訪れ、病棟内での集団活動を行います。集団活動を行うことで、対人交流機会を設け、孤立感や不安感の軽減を図り、様々な活動を通じ、生活リズムの安定化、心身機能の維持向上に働きかけます。楽しみながら行う各種の体操やゲーム活動、音楽や創作などの活動、脳トレ活動などを行います。認知症治療病棟では、必要とされる方に個人対象で認知症の個別リハビリを行うこともあります。

理学療法

チーム医療の一員として多職種との情報提供や意思統一を行い、「質の高い医療」を提供しています。

理学療法室

当院には精神科病院には珍しい身体リハビリテーション部門があり、PT5名、OT1名、ST2名が在籍しています。近年、該当患者さまの高齢化による身体機能低下という背景もあり、精神科領域での身体面フォローの重要性が一般的にもご家族さまにもますます高まっています。そこで当院では「心身相関」を重視したリハビリテーションを実施しております。患者さまが身体のリハビリテーションを行いながら精神面の安定を得るために、セラピストとしての関係性だけでなく人としての関係性も大切にしております。



取り組み事例

理学療法・身体作業療法

脳血管リハ(Ⅱ)、運動器リハ(Ⅱ)の施設基準を有し、アルコール依存症や統合失調症等の精神障害、認知症の高齢者で脳血管障害や整形疾患を併発された方、脳梗塞発症後精神状態が不安定でリハビリが必要な方が対象です。訓練プログラムは身体機能や精神状態・服薬状況を考慮して立案し実施します。また、退院後の生活環境についてもアドバイスし、安心安全に生活できるように配慮します。

言語聴覚療法

脳卒中の後遺症である失語症、構音障害、摂食嚥下障害、高次脳機能障害などの検査や評価を行い、PT・OTと協力してリハビリを行っています。また、看護師や管理栄養士と連携し、高齢者の食事観察・評価を行い、嚥下訓練や食事形態の調整を行い、安全で安定した食事摂取が出来るように支援しています。施設を退所する際には、自宅での食事にも対応できるようサポートしています。

医療法人聖和錦秀会
阪和いずみ病院

いのち
やさしく生命をまもる



Kinshukai

〒594-1157
大阪府和泉市あゆみ野1-7-1
TEL 0725-53-1555
FAX 0725-53-1214
MAIL izumi-info@seiwa-kinshukai.or.jp

入院依頼(※認知症関連含む)・相談等入院・転院
外来受診相談全般はこちらまで

相談窓口(医療福祉相談室)

0725-53-1555



ホームページはこちら

